



ちめいどうだより

基本理念

地域の皆様の健康と生命を守り、心のこもった医療と福祉を提供できる施設



撮影者：田原 智

<<目次>>

- *1頁 表紙 『雨の日の曼殊沙華』
- *2頁 『ユニフォームをリニューアルしました』『防災訓練を実施しました』
- *3頁 門野医師 『日本の医師養成の歴史』 *4頁 はたらく現場！『総務課』
『くびきのだより』 *5頁 『訪問看護通信』
- *6頁 特集！『高校生1日看護師体験』『高校生リハビリ職体験』
- *7頁 連載 第7話 『養成所創設』 *8頁 外来診療担当表

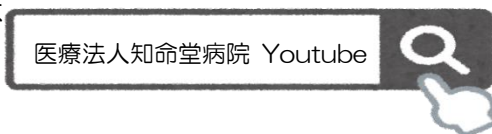


Youtube 始めました！



お手持ちのスマートフォン等で
QRコードを読み込むとYoutubeが
見られますよ！ぜひご覧ください！
チャンネル登録もぜひお願いします！！

または



で検索！

医療法人 知命堂病院
〒943-0834 新潟県上越市西城町 3-6-31
TEL 025-523-2161 FAX 025-526-1511

併設 訪問看護ステーション
介護老人保健施設 くびきの
指定居宅介護支援センター
地域包括支援センター たかだ

HPはこちら！





2024年9月より

NEW

スタッフのユニフォームを リニューアルしました！！



通気性がよく、機能性抜群のスクラフに統一し、職種ごとに色を変えました。
 看護職は濃ピンク、介護職はブルー、コメディカルはネイビー、
 相談員はパール、他 となっています ✨
 新しいユニフォームで気持ちも新たに、これからも患者さまひとりひとりに
 寄り添ったサービスを提供していきます 😊 ✨



~~2024年7月30日 防災訓練 を実施しました~~

震度6強の地震、病院地下1階ボイラー室にて火災発生 を想定し、訓練をおこないました。

地震訓練 ・ 地震発生全館放送 → 本部設置 → 人員 ・ 安全確認 → 人員報告

消防訓練 ・ 火災発生全館放送 → 初期消火 → 避難誘導 → 本部設置
 → 人員報告 → 鎮火放送 ・ 避難解除指示

火災・災害は発生しないことが一番ですが、いざという時のために職員一同、日頃より防災に取り組んでいきたいと思っております！



日本の医師養成の歴史

内科部長 門野 聡

今回（第3回）、明治政府がドイツ医学を正統医学として採用するに至った経緯の背景について概説します。幕府鎖国時代、西洋文物・科学情報・医学情報はオランダ語の書物からの情報にほぼ限られていました。蘭語辞書（ズーフと呼ばれた辞書）を頼りに苦心惨憺医学を学んだ当時の蘭医達は、オランダ医学書のほとんどがドイツ人の書いた医学書のオランダ語翻訳であることを認識し、オランダ語を愛し、ドイツ医学に対し敬意を抱いていました。

ところが、幕末当時すでに事実上の世界通用語は英語となっており、福沢諭吉は1859年横浜外国人居留地を訪れた際、オランダ語が通じず、英語の重要性を痛感、以後英語習得・英語学者へと方向転換しております。幕府は欧米との直接交渉や情報収集することが必要となり、日米修好通商条約（1859）の批准書交換目的の万延元年遣米使節派遣（1860）を皮切りに、計7回の海外使節団を派遣しました。福沢諭吉は計3回（遣米2回、遣欧1回）、最初は木村軍艦奉行の付人として万延元年遣米使節団に加わり、後の2回（欧州、米国）は幕府の通詞として参加しており、欧米各国の文化レベル（医療を含む）に関しては、当時最も詳しい日本人の一人であったと思われます。彼が参加した第二回海外派遣竹内使節団は約1年かけて英仏蘭普露葡を歴訪しました（12/22/1861-12/10/1862）。この時、通詞・翻訳方の下級若手随員（松木公安のちの寺島宗矩35歳、福沢諭吉29歳、箕作秋坪36歳）が探索要員となって制度文物から国の文化レベル比較を行っています（夷情探索）。このことが福沢諭吉の著書『西洋事情』の基となりましたが、その結論は英仏の文化レベルが最高で、蘭は文化の輸入国に過ぎず、普（プロシヤドイツ）露（ロシア）葡（ポルトガル）は英仏に劣るというものでした。この頃の英国は産業革命を経て7つの海を支配する覇権国家、米国は内戦（南北戦争1861-1865）の頃であり、英国に代わって台頭する以前でした。

この直後の幕末の内乱（戊辰戦争、北越戦争1868-1869）の際、朝廷方負傷者の多くを治療し大活躍したのが英国公使館付医官ウイリス（英国エジンバラ大学医学校卒）でした。越後が舞台となった北越戦争では、同じ徳川譜代でありながら長岡藩は幕府方、高田藩は朝廷方として戦い、高田では寺町の寺院を臨時負傷者収容所とし、ウイリスが施療しました。この時、当院の創立者瀬尾玄弘（高田藩藩医）は、ウイリスの外科医としての実力を間近に観察したものと推測されます。一方、足に銃弾を受け破傷風で死亡した長岡藩家老河井継之助を幕府医師松本良順と看取ったのが長岡藩藩医長谷川泰です（日本医大の前身、済生学舎創立者、彼の明治期医学教育に果たした功績は絶大なものがありますので後に紹介します）。

このような流れの中、明治元年、ウイリスはその卓越した臨床能力を評価され、病院兼医学校長（東大の前身）となり、日本医学の棟梁と目されて、イギリス医学を日本の正統医学として採用することが、ほぼ決まりかけていました。その流れをひっくり返し、ドイツ医学を明治日本の正統医学として採用することを強引に押し進めたのが、明治新政府の医道改正御用掛として選ばれた、岩佐純（福井）相良治安（佐賀）らと佐賀藩の面々でした。

この詳細を紹介するのは次回としますが、ここに越後出身で陸軍軍医総監となり森鷗外の上司であった、石黒忠恵（1845-1941：幕府医学所一大学東校教師一軍医総監、東大閥と共に脚気細菌感染説をとり日清日露戦争の戦死者を増やした失策で有名）の回顧を紹介します。「当時朝廷の武官出身者で維新の戦乱に負傷したものは、ウイリス（ウイリスのこと）の治療を受けた。また政府は英国に依頼する傾向があり、自然公使のパークスの発言力は大きかった。従って英学の勢力は牢固たるものがあり、医学もまた英国に頼らざるを得なかった。しかし私ども蘭医学を学んだものにとっては、英語はなるほど、世界的通用語であろうが、こと医学に関しては絶対にドイツに頼るべきだと信じていた。その理由は、蘭医学の教科書のほとんどはドイツ書の翻訳と言って良いほどで、その頃有名な（～中略～）などはみなドイツ人の原書だった。つまり私どもは蘭語を通じて独逸医学を学んでいたわけで、もちろん、英書の中にも、グレーやウィルソンの解剖学書など良書もあったが、学術的内容はドイツ書に及ばないので、私どもは医学はどうしてもドイツに限ると言う信念を持っていた」。

このドイツ医学採択が、短期間に近代化を成し遂げ、日英同盟を活用して日清・日露戦争に勝利し、第一次世界大戦も戦勝国となった我が国を、その後、本来は組むべき英米と離反敵対、組むべきではなかったドイツと手を結んで、失敗、大東亜戦争の手痛い敗戦に至る遠因となったのではないのか？そして、戦後被占領期のGHQ公衆衛生福祉局長軍医クロフォード、F. サムス（医師養成医学教育制度改革、伝染病対策、学校給食導入、などを実行）が言い放った「日本の病院水準は中世並み」、と形容された、戦前のみすばらしく権威主義的医学医療体制の要因ではないのか？と、明治18年開通した旧信越線の英国製線路を再利用した高田駅ホームの鉄製柱を見るたびに考えるのは筆者だけだろうか。次回につづく・・・

はたらく現場！

知命堂病院 総務課

ウォッチ！

病院のはたらく現場を紹介する『ウォッチ！はたらく現場！』
今回は『総務課』です。

管理部長 早津隆一

総務課は用度課とともに特定の施設には属さず、法人全体と関わる部門です。
今回はそんな、**意外と知らない？ ミステリアス？** な総務課を紹介します。
そもそも『総務』とは・・・組織全体に関する事務を扱う業務（Web より）
・・・やっぱりわかりづらいですね。。



病院5階
総務課室



病院地下1階
洗濯室

訪問看護通信

「秋バテ対策」



まだまだ暑い日が続いていますが、皆さんは『秋バテ』という言葉をご存じですか？『夏バテ』は、暑い時期に体力や食欲が低下し、だるさなど体調不良が現れます。

秋になり、過酷な夏が過ぎ去り涼しくなって過ごしやすくなったのに、食欲不振やだるさが続いたり寝不足で朝起きれない、やる気が出ず頭がボーとする、めまいや立ち眩みがある、などの症状があったら『秋バテ』を起こしているかもしれません。

『秋バテ』の原因は？

秋の大きな環境変化と夏の疲れと言われています。秋は天気の変化と1日の寒暖差が大きく体温調整が難しいです。又、台風など気圧の変化にも影響されます。夏場に冷房の効いた部屋で過ごす時間が多かったり、冷たい食品を摂り過ぎてしまったことから自律神経が乱れ全身の血の巡りが悪くなり起こります。

では、『秋バテ』の対処方法を紹介します。

①体を温める

38～40℃のぬるめのお湯にゆっくりと浸かり1日の疲れを癒しましょう。

②寒暖差対策

朝晩は特に冷え込むのでパジャマや布団に気を使いながら睡眠をとりましょう。

③軽めの運動

適度な運動や朝の散歩。20～30分のウォーキング、就寝前のマッサージやストレッチで体のコリをほぐしましょう。

④水分補給

常温や温かい飲み物をとるように心がけましょう。

⑤食事

タンパク質、ビタミン、ミネラルなどを積極的に摂りましょう。

山芋やサツマイモ、カブや人参、しいたけなどは慢性的な疲労を回復し

胃腸を整えることができる旬の食材です。梨やブドウなどの秋の果物、サンマ、鮭、サバなども良いでしょう。

スープや煮込みのような温かい物にして血行を良くしましょう。

『秋バテ』かな？と感じたら、早めの対策が必要です。

上記のような対策をしても症状が改善しない時は、できるだけ早く受診し、相談しましょう。



知命堂病院訪問看護ステーションは看護師5名のスタッフで活動しています。病気や介護で困っていること、ご相談などありましたらお気軽にご連絡ください。

管理者 植木 光代

TEL 025-522-5539

特集!

2024年8月7日

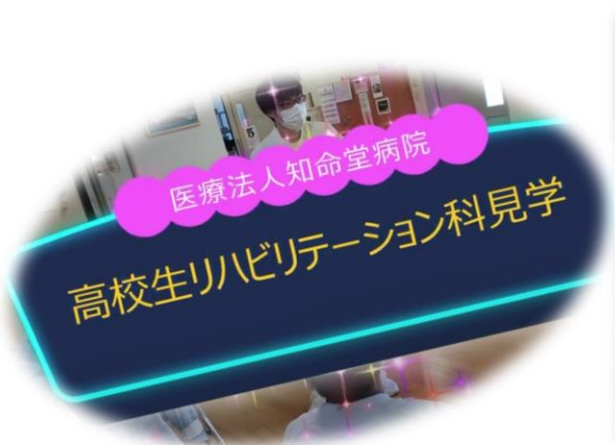
高校生1日看護師体験をおこないました!

当院では新潟県看護協会の推進事業である「高校生1日看護師体験」の受け入れを行っています。今年度は6名の高校生に参加いただきました。ユニフォームに着替えたら1日体験の始まりです。看護師の役割や資格取得についての説明を受けた後は、点滴の滴下をあわせたり、ストレッチャーや車椅子の操作をしたりと実際に看護技術を体験していただきました。みなさん初めてのことに緊張しながらも真剣に取り組まれていました。さらに院内見学では多職種から説明を受け、患者さんのために看護師をはじめ、多くの職種が協力し連携していることを知っていただきました。コロナ禍で患者さんと接する機会は持てませんでしたが、今回の体験を通して看護に興味を持ち、職業選択の一助となることができたら幸いです。



リハビリテーション科でも・・・! 高校生リハビリ職体験をおこないました!

2024年8月5日と6日の2日間にわたり、新潟県立高田北城高等学校の生徒さんが当院リハビリテーション科の見学とリハビリテーション業務の体験を行いました。8月5日には3名、8月6日には4名の高校生がスタッフからリハビリテーションの役割、患者さん一人ひとりに合わせた治療プランの作成や、リハビリテーション機器の使い方の説明を聞いたのち実際に行われているリハビリテーション業務を体験していただきました。体験に関しては歩行介助、立位介助、手指のアクティビティプログラム、成人知能検査(WAIS)を患者さんを適宜交えながら行いました。質疑応答の時間では、リハビリテーションに必要なスキルや将来のキャリアパスについての質問が多く寄せられ、活発な意見交換が行われました。今回の見学や体験が、将来の進路を考える貴重な機会となり、リハビリテーション科の仕事の魅力や、やりがいを感じる良い経験となって頂ければ幸いです、引き続き医療分野への興味を持ち続けてほしいと願っています。



連載 <第7話>

養成所創設

明治27年4月には、いよいよ産婆看護婦養成所を創設し、本格的に養成事業を開始しました。県下には産婆だけの養成施設は、すでに明治14年からありましたが、看護婦を養成する施設は知命堂病院が初めてであり、しかも早くから人体の骨格標本を持っている養成所は他にはなかったと思います。

明治26年3月中頸城郡病院内に私立産婆養成所が創設され、5月15日より操業が開始されましたが原始院長はこれにも協力して講師を引き受けています。明治28年5月に中頸城郡から感謝状をもらっています。（養成所史30頁）

明治29年3月に知命堂病院の養成所を卒業した第1回生達は、当時、県内にまだ正規の看護学を学び実地訓練をした看護婦がほとんどいなかったため、県下各地の公立病院へ就職して活躍しています。

原始院長は明治35年には中頸城郡医会長、同37年に中頸城第二区産婆組合会頭、明治44年12月には初代高田市医師会々長に就任しています。

瀬尾原始先生は、昭和5年6月7日、69歳で逝去されましたが、わが国の看護婦養成事業の草創期から深い関心をよせられ、東京大学や岡山医学専門学校等では直接看護婦養成所の設立と運営に最初からタッチされた、いわば看護婦養成事業のベテランであります。



(医)知命堂病院 診療担当表

外来診療

2024年9月1日

			月	火	水	木	金
内科	午前	1診(再来)	門野	森川	石橋	森川	石橋
		再来・予約	森川 <small>(予約制)</small>	永井	門野	阿部	森川
		新患・予約外	永井	門野	門野	阿部 第3：永井	永井
	午後	新患・予約外	永井	石橋	石橋	森川 第3：阿部	永井
脳神経内科	午後	3診(再来・新患)				第2・第4 14:00~15:00 完全予約制 県中病院医師	
外科	午前	4診(再来・新患)		羽尾			
		5診(再来・新患)	武藤		藤田	武藤	藤田
		2診(呼吸器心臓血管)			第1・3 矢澤		
	午後	急患	藤田	武藤	武藤	藤田	藤田
整形外科	午前	4診(再来・新患)					10:00~12:00 完全予約制 県中病院医師
泌尿器科	午前	再来・新患		9:00 ~11:30 新屋	9:00 ~11:30 新屋		9:00~11:30 新屋
	午後			13:30 ~15:00 新屋			13:30~15:00 新屋

		月	火	水	木	金
内視鏡	胃カメラ	藤田				

診療時間 9:00~17:00 (月曜日から金曜日)
 外来診療受付時間 8:30~11:30 (医事課窓口)
 面会時間 10:00~12:00 15:00~20:00 ※現在は対面による面会は禁止となっております。(オンライン面会可)
 休診日 土曜日・日曜日、祝日、お盆(8月15日、16日)
 年末年始(12月30日~1月3日)
 ※ただし、急患の場合はこの限りではありません。

☆看護師・介護員募集☆

~地域医療の一翼を担う私たちと一緒に働きませんか~

- 看護師： 夜勤可能な看護師
- 介護員： 介護福祉士、ヘルパー2級以上(初任者研修)
- 勤務場所： 知命堂病院または介護老人保健施設くびきの
- 問い合わせ先： 電話(代表)025-523-2161 事務長



「くびきのファーム BBQ」



前号で紹介した「くびきのファーム」での野菜を収穫し、バーベキューを行いました。収穫した野菜、お肉等は職員が調理し、利用者に召し上がっていただきました。



くびきのファームの収穫も食材になっています。



美味しかったよ、肉も野菜も。

上記内容について

知命堂病院YouTubeチャンネルで配信しています。

ぜひ、チャンネル登録をお願いします。



医療法人知命堂病院 介護老人保健施設くびきの

TEL 025-526-2161 FAX 025-526-1156

【HP】 <https://www.chimeido.jp>

【メール】 kubikino@chimeido.jp

イージーロール勉強会



ノーリフト委員会では利用者の安全安心と職員の身体を守るため、ノーリフティングケア（抱え上げない・持ち上げない・引きずらないケア）を積極的に推進しています。6月にイージーロールの勉強会を実施し、今後も定期的に活動していきます。

送迎車両を更新しました

この度、送迎車両を更新しました。新車のソリオです。従来の送迎車両より座席が広くなり、スライドドアも装備されています。ご利用の際には、新車の乗り心地をお楽しみいただけたら幸いです。今後も安心・安全な送迎サービスを提供していきます。



お食事は楽しみ！そして健康への第一歩。

「お楽しみメニュー」の一部をご紹介します。



土曜の丑の日「うな丼」。季節の変わり目を感じつつ暑さを乗り切ってほしいです。※右下はソフト食

くびきのファームで収穫した新鮮な野菜を用いて、茄子の煮浸しや麻婆茄子等を提供しました。

夏の定番「冷やし中華」。暑い時期に提供し、利用者に召し上がっていただきました。